

モバイル実装ライン MR-250CV+VR-350

超小型コンベアー式簡易簡易チップ搭載機

スルーバッチ式簡易リフロー炉

これからの“モノづくり”に

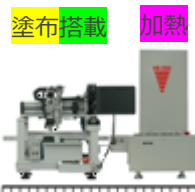
- ・総全長1.1mの超コンパクト設計。
- ・生産タクトや実装条件に合わせたレイアウト構成を容易に実現可能。
- ・標準的な作業機のスペースがあれば、簡単に生産ラインを作ることができます。(標準的な作業機の長さ：1.2mの場合)



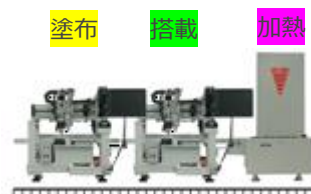
省スペース、省電力の超エコ設計

マウンターの質量は約25kg、リフロー炉は約20kg。2名で簡単に持ち運びできるので、設置場所を選びません。2台が省スペースに収まりますのでどこでも簡単に生産ラインを作ることができます。また超小型簡易チップ搭載機 MR-250 を2台並べて、塗布専用機と搭載専用機として使用したり、塗布・搭載混載機として使用することもできます。いつでも生産ニーズに合わせて最適な実装ラインを柔軟に組み合わせることができます。

全幅：1.1m
電力：2.8kW

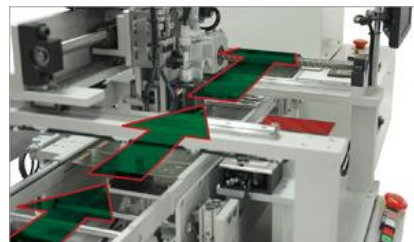


全幅：1.7m
電力：3.4kW



コンベアー採用により小ロット基板を自動連続生産可能

卓上装置でありながらコンベアーを標準装備。最大□150mmサイズの基板まで対応できますので、簡単なLED基板生産やFPC実装、部品メーカーでのテスト実装ラインなどの小ロット生産に最適です。これまで高額で自動化が難しかった単純作業の自動化が、これにより実現できます。



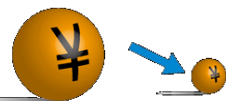
操作性を最優先

直感的に判るように、簡単操作を重視。設置したその直感的に日から即戦力として使用できます。作業者はデータを選択してスタートスイッチを押すだけ。MR-250とVR-350が連携して予め決められた枚数の連続生産を行います。

少ない投資でスタート

一般生産ラインの約1/5のコストで1ラインが構成できます。生産種や生産量が増えた時点で必要に応じてもう1ライン追加すればいいので、初期投資を抑えたスムーズな立ち上げができます。

コスト 1 / 5



関連商品



マルチロボステーション



ガイド付半田印刷機



リフロー炉

※掲載写真はオプション仕様を含んでいる場合があります。

N M

株式会社日本メンブレン

おすすめ

リフロー炉に掛けられない樹脂系基板の実装に。
部品点数の少ないリードフレームの実装に。
調整抵抗など後付部品の実装に。

塗布・搭載・加熱

半田塗布およびチップ搭載が標準装備されている
超小型簡易チップ搭載機MR-250と、ポイント加熱
が可能な超小型自動加熱機MH-250をコンベアーで
ライン化しました。

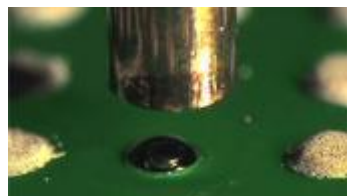
超小型・軽量・簡単操作

ラインの全長は1000mmと超小型、工場の空き
スペースに置くサイズです。数メートルに
およぶ大型ラインに流すには惜しい少量生産枚数
の基板生産は、モバイル実装ラインの得意技です。
管理/生産アカウントを分離、生産時のオペレー
ターは使用データを選択してスタートボタンを押
すだけで基板生産が行われます。

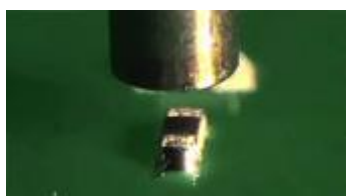


ポイント加熱

リフロー炉に掛けられない樹脂系基板の実装も、MH-250CVのヒーターであれば
可能です。ポイント加熱なので、部品点数の少ないリードフレームの実装や調整
抵抗など後付部品の実装などに最適です。



狭範囲の過熱が可能



0402チップへの加熱



約5mm角を1度に加熱

関連商品



※掲載写真はオプション仕様を含んでいる場合があります。



印刷
ST-250CV

搭載
MR-250CV

加熱
MR-250CV
VR-350

モバイル実装ライン3の構成装置



印刷機をラインに組み込み、より生産性向上へ

モバイル実装ラインに垂直版離れ式半自動クリーム半田印刷機ST-250CVが新たに加わりました。

ST/MR/VR/MHの4装置の組み合わせにより、実装ラインの更なる展開が可能になります。月生産枚数、約3~4000枚にも対応できます。

関連商品



※掲載写真はオプション仕様を含んでいる場合があります。